

今年度も残すところあとわずかとなりました。新型コロナウイルス感染症対策や臨時交付金、G I G Aスクール構想に伴うタブレットの導入など例年にはない仕事が増え、目まぐるしい1年でしたね。

すでにご存じの方もいるかと思いますが、今年度は研究集録「わか竹」を発行しないことになりました。そこで、例年研究集録「わか竹」に掲載しておりました新規採用者の「1年を振り返って」を今号で紹介させていただきます。育休等でお休みされている方のコメントは、来年度以降にいただきたいと思います。



1年を振り返って

小学校 主事

昨年の4月1日から学校事務職員として勤務し、1年が経過しようとしています。

4月当初を振り返ると、緊張の連続で、電話対応もままならず、事務職員として何から手をつけてよいのか分からないまま、無力感に苛まれ、気がつけば、「すみません」が口癖になっていました。

この状況を打開するため、分からないことは先輩方にご教示いただき、また、昨年度の資料を何度も読み返すことによって理解を深め、教わったことを実践していく中で、少しずつではありますが自信を持つことができ、「すみません」の口癖が、いつしか「ありがとうございます」に変わっていました。

私なりに、事務処理に優先順位をつけ、時間を価値的に使うことを意識して行動した結果、提出文書の作成だけでなく、指示されたこと以外にも気づくことが増え、それに対し、どう対処すればよいかを考え、行動できるようになってきたと感じています。まだまだ未熟ですが、このように思えるのは、先輩方や管理職をはじめ先生方が親切丁寧に教えてくださったからだに感謝しております。

2年目以降は、迅速かつ的確な事務処理ができるよう、また、私が今まで先輩方からご教示いただいたことや研修等で学習したことを後輩に教えていけるよう、誠心誠意努めてまいりますので、今後ともよろしく願いいたします。

小学校 主事

この1年、私はたくさんの人に助けをもらいながら、多くのことを学びました。その環境を整えてくださったのは、先輩事務職員の方々、小中学校の先生方、教育委員会の皆さんです。本当にたくさんお世話になりました。

特に先輩方にはとてもお世話になりました。地区の事務研修では年末調整や予算要求のやり方まで丁寧に教えてくださり、プレゼンまでしていただいて、何から何までわかりやすく、時間をかけて指導してくださいました。先輩方には感謝しかありません。また失敗しても、私を責めず「これも勉強」と言って解決方法を指導してくださいます。最初は落ち込むことも多くありましたが、経験値になっていると思えば、教えていただける環境がある今がチャンスだと考えるようになりました。

1年前と比べると私はずいぶん成長したと思います。それは社会人としても事務としてもだと思っています。今まで働いたことがなく何も知らない私に、社会人としてのマナーや礼儀を教えてくださいました先生方、失敗しても大丈夫と言ってくださる先輩事務職員や教育委員会の方々に囲まれて、私は本当に環境に恵まれていると感じます。まだまだ未熟者ではありますが、ここまで成長できたのもひとえに指導してくださった方々のおかげです。この1年で学んだことが生かせたと実感できるような2年目にしたいと思います。



小学校 主事

小学校に配属されて、早くも1年が経とうとしています。この1年は、たくさんのことを学び、たくさんの人に支えられた1年だったと思います。

4月1日、辞令交付式を終え小学校へ出勤しました。慣れない場所で初めて仕事をするという緊張、自分の席に座っても何をしたらいいのかもわからず不安になったのを今でも覚えています。

このような中で1年間を無事に終えることができたのは、小学校の先生方や同じ地域の事務職員の皆さんがいつも優しく接して下さり、指導して下さったからだと思います。このように恵まれた環境の中で仕事をさせてもらっているおかげで、少しずつ仕事にも慣れてきました。周りの方々には本当に感謝しています。

学校事務職員としてまだまだ学ばなければならないことがたくさんあります。少しでも先生方の力になれるように日々勉強していきたいです。そして、2年次になるということは後輩ができるということです。自分がしてもらったように、自校のことだけではなく他校のことにも目を向け、質問をされたら正確にこたえられるような事務職員になるために頑張っていきますのでこれからもご指導のほどよろしくお願ひします。

小学校 主事

この1年を振り返ると、とてもあっという間だったなと思います。高校を卒業してすぐこの仕事に就いたので、右も左も分からず、何をすればいいのかも分かりませんでした。つい1か月前まで教室で授業を受けていた私が、職員室で仕事をしているという環境になかなか慣れることができず、失敗ばかりしてしまい、自分の未熟さに反省する毎日でした。しかし、管理職の先生や地域の先輩事務職員の皆さんが丁寧にご指導してくださったおかげで、最初の頃は何日もかかっていた業務も、今ではすぐに行うことが出来るようになっていきます。

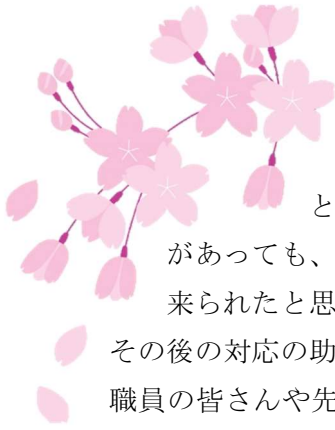
自分が想像していた以上に学校事務の仕事は多岐にわたっていて、毎日たくさんのことを学ばせていただいています。来年度からは、今年度得た知識を生かし、先生方や児童の学校生活や環境がより良くなるように、業務に励んでいきたいと思っています。



中学校 主事

4月1日の採用、中学校における学校事務としての生活が始まってからまもなく1年経過しようとしています。振り返ると当時は、これから先の学校事務としての生活に対して期待と不安が混在しており、落ち着くことはとてもできませんでした。不安や自分の経験不足から、ごちない受け答えをしてしまうことも多く、先輩事務職員や先生方に迷惑を掛けてしまうことが多々ありました。しかし、私の対応が不十分なことがあっても先輩方は、「失敗からしっかり学んで次に生かせばいい」と優しく接してくださりました。そのため過度な不安は徐々に和らぎ、しっかり学び学校運営に貢献したいと徐々に前向きな考え方を持つことができるようになりました。恵まれた環境で1年学ばせていただくことができ、優しく接して下さった教職員の皆さんには感謝しかありません。そして、この1年で気付いた最も重要なことは人と人のつながりです。学校運営においては、教職員や保護者、地域の方々との信頼関係が大切であると様々な事務において実感する機会がありました。欠席の連絡から、就学援助の申請など連絡・相談が綿密に行われることで確実な対応が可能となります。そのため、学校に関係する方々との連絡・相談は欠かしてはならず、迅速で丁寧な対応を行うためにも、常に相手を思いやることを忘れずに学校に良い印象をもってもらえる対応をこれからも心掛けていきます。最後に来年度の目標としては、学校に関わる多様な方々の視点を持つということを目指したいと思います。今年度は日常業務の経験を多く積ませていただいたので、今後はあらかじめ把握している自分のやるべき事だけでなく、保護者や教員の負担を減らすには何をすべきか、子ども達の学びをサポートするためには何が出来るか、それぞれの方々に精一杯気配りが出来るようコミュニケーションを心掛けたいです。

中学校 主事



採用からこれまでを振り返るとたくさんの方に支えられ、自分の未熟さと向き合った1年でした。仕事の中で分からないことや時間がかかることがあっても、温かく見守ってくださった教職員の方々のおかげで、めげずにここまで来られたと思います。失敗もたくさんし、ご迷惑もおかけしました。私が失敗をしてもその後の対応の助言をしてくださったり、励ましの言葉をかけていただいたりと先輩事務職員の皆さんや先生方には本当に感謝しています。このような恵まれた環境で様々なことを経験させていただき、失敗から学びを得ながら少しは成長できたのではないかと感じています。

毎日教育活動等に励まれる先生方や元気に学校生活を過ごす生徒達の姿を見て、自分もはやく学校のために役に立ちたいと思うようになりました。しかし、この1年は自分の仕事を覚えることに精一杯で学校全体のことに目を向ける余裕がなかったと感じています。来年度はまず、教えて頂いたことを思い出しながら丁寧に誠実に仕事をしていきたいと思っています。まだまだ至らない点もありますが尊敬する先輩事務職員の方々に追いつけるよう、またいち早く学校に貢献できる事務職員になれるよう努力していきますので今後ともご指導よろしくお願ひいたします。

中学校 主事

学校事務職員として働き始めて早くも1年が経とうとしています。仕事に就く前に説明会などで聞いて、学校事務はどんな仕事をするのかというイメージを、少しは持っていました。しかし、学校事務の仕事が本当に多岐にわたることを最近になって強く実感しています。財務や学籍、服務などといっても、一言では説明しきれないくらいに様々な分野があり、それぞれに細かい決まりがたくさんあります。1年経っても、事例がなく、経験できていないこともまだあります。また、校内で学校事務の校内研修を行ったり、新しく高知市でも使用することになった部活動ツールについて説明をしたりするなど、先生方の前で話す機会がありました。人前で発表するのは得意ではありませんが、発表前に自分なりに勉強をしました。現況届や年末調整では、言葉の意味も分からない状態からのスタートでしたが、先生方に書類の記入のしかたをまとめたA4の文書をつくって配布するなど、先生方の事務負担軽減になるように考えました。また、児童生徒の学習の手助けのために厳選した物品を購入しました。単純に事務作業をこなすだけでなく、様々な場面で創意工夫をする大切さを感じました。仕事に就く前より、多くの面から子どもたちの教育をサポートしていける魅力のある仕事だと、さらに魅力を感じています。この1年での学びを生かしながら、来年からもこの素敵な仕事を全力で頑張りたいと思います。ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、どうぞよろしくお願ひいたします。



中学校 主事

4月に採用となり、あっという間に1年を迎えようとしています。仕事が始まってすぐは新型コロナウイルスが猛威を振るっており、各種イベントは軒並み短縮や中止になったり、オンラインでの開催になったりとベテラン教職員の皆さんも困惑している中、私は学校事務職員として何のアドバイスもすることが出来ず、ただただ机の上の書類を片付けることで精一杯でした。

なれない業務に1日があっという間に過ぎ、思うように仕事が片付かず焦ったり、処理を間違えて冷や汗を流すことも多々ありましたが、周りの教職員の皆さんに励ましの声を掛けていただいたり、先輩事務職員や事務支援室からの指導やアドバイスで少しずつ出来ることが増え、仕事のやりがいや面白さを感じるようになっていきました。

たくさんのことを学ばせてもらった1年となりましたが、先輩事務職員の皆さんに共通して感じたことは、質問をした際に即答できないことがあっても、その答えを導き出す方法を必ず持っているということでした。どのファイルやサイトを見るのか、どこに電話をして聞くのか、最短で答えを導き出す方法を皆さんが持っていると感じました。2年目は私もその感覚を少しでも身に付けて、事務処理を効率的にこなしていけるようになりたいと思います。

まだまだ失敗の方が多いくらいの私ですが、1日でも早く周りの方に頼りにされるような事務職員になれるよう日々精進したいと思います。



小学校 主事

学校事務職員として採用されてから早1年が経とうとしています。とても緊張しながら引き継ぎのために、初めて小学校を訪れた日のことをまるで昨日のことに覚えています。

高校卒業後、すぐに就職した私は学校事務職員としてという以前に社会人としての自覚やマナーも未熟なままのスタートでした。4月当初は学校事務の業務はもちろん、コピー機やパソコンの使い方すらよく分かっておらず、そこから教えてもらわないと何もできない自分が情けなかったです。そして、毎日のように事務支援室や前任の方に電話をかけて質問していました。今思うと、事務の手引きや引き継ぎ書を見れば分かることばかりで、お忙しい中時間を取らせてしまい申し訳なく思います。この1年を振り返ると、反省するべきことがたくさん出てきます。たくさん失敗もしましたが、自分の人生の中で一番成長し、支えられていると感じた1年間でした。初任者研修を開催してくださったり、質問しやすい環境を作っていただいたりした事務支援室の皆様、事務部会や相互確認でお世話になった先輩事務職員の皆様、いつ電話をかけても優しく丁寧に教えてくださった前任の方には、本当に感謝しています。

また、私のことを「先生」と呼んで、遊びに誘ってくれた小学校の児童たち、小さなことでも褒めてくださったり、気にかけて声をかけてくださったりした管理職や先生方のおかげでこの1年を終えることができます。

「初任者だから」「初めてだから」という言葉にもう頼ることはできません。この1年で学んだことや失敗を生かして、学校事務職員として、社会人として成長できるように日々精進していきます。今後ともご指導のほどお願いいたします。

小学校 主事

この1年を振り返ってみると、日々の業務に追われ、大変忙しくあっという間に過ぎ去っていったという印象です。今年度は、新型コロナウイルスの影響で、始業式を終えて間もなく休校となりましたが、休校期間中に管理職や事務支援室、先生方からアドバイスをいただく時間が多く取れたため、業務に慣れていくのにさほど時間がかからなかったように感じます。学校事務の職務を牛歩ではありながらも着実に身につけられたと思います。今年度は、GIGA スクール構想に向けた様々な準備が行われ、その中で自分がデジタル教科書や電子黒板等の準備及び設定を行うことで、知識を身につけ、一定程度は学校に貢献できたのではないかと思います。日々の業務の積み重ねによりできることが増えていったことで学校事務の職務に楽しさややりがいを感じられるようになりました。それと同時に、自分の職務だけでなく他の教職員のために何かできることはないか、もっと簡素化できることはないかなど、いろいろな課題があることに気づきました。それらを解決するために今後も考え続けなくてはならないと思います。

現在はまだ、課された仕事に着手するだけで精一杯であり、昨年度までいらっしゃった先輩の模倣をすることしかできていませんが、これからは自分で考えて先んじて準備し、計画的な予算執行等をできるようにしなくてはと思いました。まだまだミスも多くわからないことも多くはありますが、それらを丁寧になくしていき、事務に従事するだけでなく、事務をつかさどることができるような立派な事務職員になりたいと思います。これからも管理職や事務の先輩方に頼らせていただきながらも、教職員から頼られるような事務職員となるために今後も日々精進いたしますので、何卒よろしくをお願いします。

小学校 主事

4月から振り返ってみると、本当にあっという間の1年間でした。全てが初めてのことばかりで、何もできない自分がこれから本当に事務職員としてやっていけるのかと毎日とても不安だったことを覚えています。毎日支援室の皆様や他校の先輩方にご指導いただき、学校事務の基礎・基本について多くのことを学ぶことができました。1年間を振り返ってみて、改めて自分が恵まれた環境で初任者として仕事ができていることを実感し、周りの先輩方には感謝しかありません。

今年度は新型コロナウイルスの影響により、臨時休校や多くの行事が中止になり例年通りにはいかない1年でした。管理職や先生方と相談しながら、行事などを進めていくことができたので、これもよい経験だったと感じます。来年度は今年度より、保護者や地域の方ともコミュニケーションが取れる機会が増えればよいと思います。また、研修もオンデマンド研修への変更や中止になり、同期の皆さんと関わる機会が少なかったことが少し残念です。しかし、横のつながりを大切に、今後も一緒に学んでいきたいと思っています。

この1年間は本当に多くの人に支えられた1年でした。来年度は学んだことをもとに、1年目にはできなかったことや気づけなかったことにも目を向け、事務職員としてより成長していきたいと思っています。



中学校 主事

中学校へ配属されて1年が経過しようとしています。この1年を振り返ると、新型コロナウイルス感染症の影響により学校の運営も手探りの中、初任者の私を支えてくれた中学校の教職員の皆様や郡内の先輩事務職員の皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。大学を卒業後、県内高校で講師をしていた経験もあり学校の流れをある程度理解しているつもりでしたが、立場が変わればこんなにも学校というものの見方が変わるのかと率直に驚いたことを今でも覚えています。学校内唯一の行政職であり、給与事務や旅費事務、財務事務などそれぞれが個別の業務ではなく、その事務ひとつひとつが繋がりにあること、1つの誤りが全体の誤りになりうること、学校事務の業務に「ま、いいか」という考え方ではいけないことを強く実感しました。

新型コロナウイルス感染症の影響で、学校の在り方は大きく変化しようとしています。この局面で学校事務職員はどのように学校の運営に参加していかなければならないのか、学校事務職員の立場や業務の特殊性を生かした事務を「つかさどる」力がより求められているように感じます。この1年は事務に「従事する」年でした。次年度では、少しでも事務を「つかさどる」ことができるように、新しい情報を得るために物怖じせずに様々なことへチャレンジする年にしたいと考えています。

まだまだ学校事務職員として未熟な私ではありますが、悩み、考え、相談しながら主体的に行動できる事務職員になれるよう日々精進していきますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

